



東京大学地域未来社会連携研究機構 公開シンポジウム



データ駆動型社会における地方創生 —RESASを活用した第2期地方版総合戦略に向けて—

■趣旨

東京大学地域未来社会連携研究機構は、東京大学の新しい連携研究機構として、2018年4月1日に設置されました。地域の課題解決に関わる学内の11部局が連携し、統合したプラットフォームを構築することで、研究・地域連携・人材育成の3局面で相乗効果を発揮することを目的としています。

昨年末に、第2期地方創生に関する国の総合戦略が策定され、今後地方版総合戦略に向けた動きが加速していくこととなります。その際、地域経済分析システム（RESAS）の活用をはじめ、データ駆動型社会における地方創生のあり方が、問われてくるように思います。今回のシンポジウムでは、地方創生に関わるビッグデータ活用の現状と課題について、多方面から話題提供をいただくとともに、データ駆動型社会における地域の未来について考えたいと思います。

■日時：

2020年 2月 12日（水） 13:00-17:00

■会場：

東京大学駒場 Iキャンパス KOMCEE West（レクチャーホール）

■プログラム：

13:00-13:10 開会あいさつ

13:10-13:40 「データ駆動型社会におけるRESASの役割」

関口訓央（経済産業省地域経済産業グループ地域経済産業調査室・室長）

渡邊宏和（内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局内閣地方創生推進室・企画官）

13:40-14:10 「企業間のつながりと地方創成」

坂田一郎（東京大学大学院工学系研究科・教授）

14:10-14:40 「RESASを活用した政策立案支援オープンネットワークの成果と課題」

松原 宏（東京大学大学院総合文化研究科教授・機構長）

申 知燕（東京大学地域未来社会連携研究機構・特任助教）

14:40-15:00 休憩

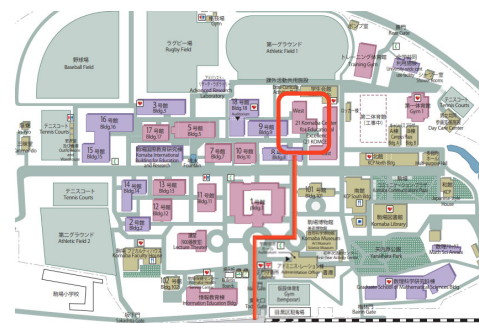
15:00-15:30 「地域経済データ基盤「データサラダ」による地方創生への挑戦」

岡野秀之（公益財団法人九州経済調査協会事業開発・部長 兼 BIZCOLI・館長）

15:30-15:50 「RESAS活用の現場からの報告」

藤村勝之（新潟県上越市企画政策課地方創生担当・係長）

16:00-17:00 総合討論



東京大学駒場キャンパスマップ

■シンポジウム参加費：無料（事前登録が必要です。）

下記URLもしくはQRコードへアクセスし、フォームを送信してください。）

<https://frs.c.u-tokyo.ac.jp/>



■問合せ：東京大学地域未来社会連携研究機構事務局

resas@frs.c.u-tokyo.ac.jp